

複式学習指導の基本的な進め方

複式学級においては、2つの学年の児童を同時に指導することになります。その際の指導形態は、下表のように学年ごとに別々に進める指導形態と、2つの学年を一つの学級とみなして指導する指導形態の大きく二つに分類できます。

指 導 類 型			指導計画の運用	指導計画の類型 はこちら 
学年別に指導する 指導形態	学 年 別 指 導		1 年ごとの計画	
	同 単 元 指 導	一 本 案 に よ る 指 導	2 年にわたる計画 (A 年度・B 年度)	
折 衷 案 に よ る 指 導				
二 本 案 に よ る 指 導		1 年ごとの計画 (2 年間繰り返す)		
完 全 一 本 案 に よ る 指 導				
2 つの学年を一つの学級とみなして同時に指導する指導形態				

以下、学年別に指導する指導形態における複式学習指導の基本的な進め方や留意点などについて御紹介します。

御覧になりたい項目をクリックしてください。

- 1 基本的な指導過程
- 2 「ずらし」と「わたり」
- 3 直接指導と間接指導
- 4 「ずらし」を取り入れた指導過程の類型
 - (1) 類型1「上学年の導入に前時の適用・発展を行うもの」
 - (2) 類型2「上学年の終末で、次時の学習の課題把握を行うもの」 
 - (3) 類型3「両学年、同時導入・同時終末を設定するもの」
- 5 間接指導の進め方
 - (1) 学習資料による方法 … 学習の手引き・ワークシート・発表ボード
 - (2) 話し合い学習による方法 … ガイド学習 
 - (3) 教育機器による方法 … パソコン
- 6 間接指導の留意点
 - (1) 間接指導を充実させるための直接指導の在り方
 - (2) 6年間を見通したガイドの育成 
 - (3) 主体的な学びを支える環境構成

※ ビデオカメラのマークがある項目には、動画があります。